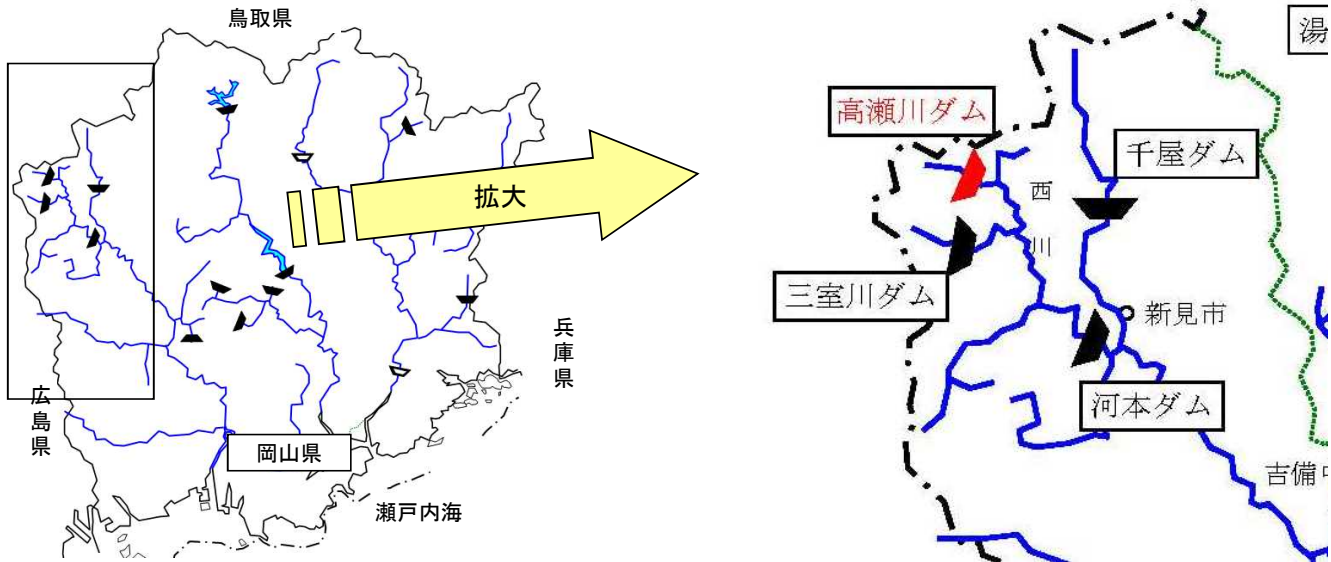


高瀬川ダムの洪水調節効果について

平成30年7月5日から9日にかけて、前線による降雨に対して、高瀬川ダム洪水調節により下流河川の水位を低下させました。

高瀬川ダム位置図

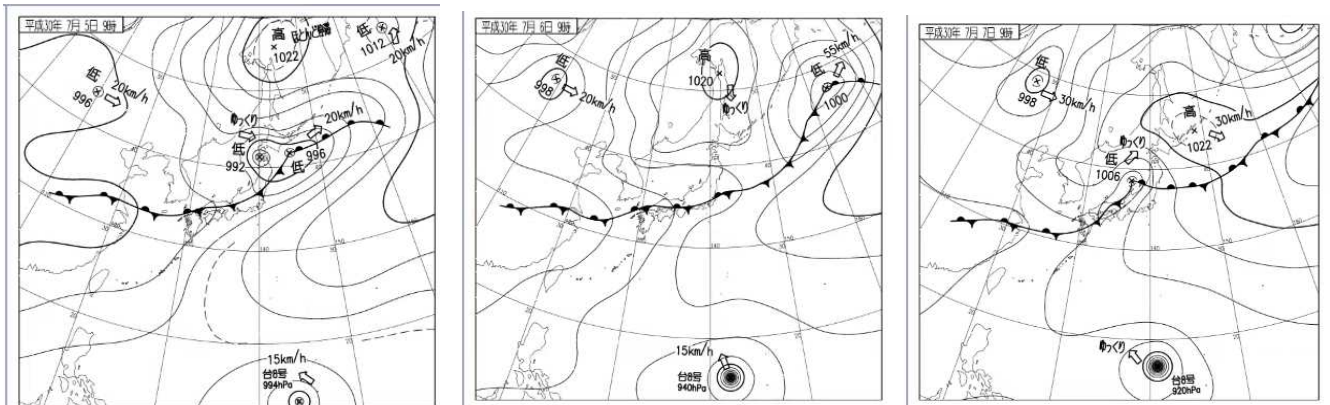


洪水の原因となった降雨の概要

7月5日から9日にかけて、前線が西日本に停滞し前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり岡山県各地で激しい雨が断続的に降り大雨となった。

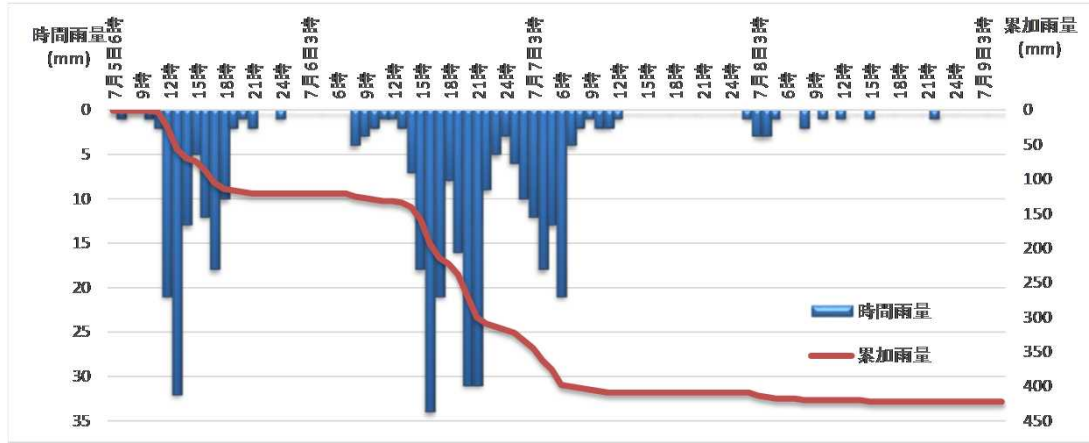
○高瀬川ダム流域平均雨量 413mm(7月5日6時～7月9日5時)

気象庁-天気図 7月5日9時～7日9時

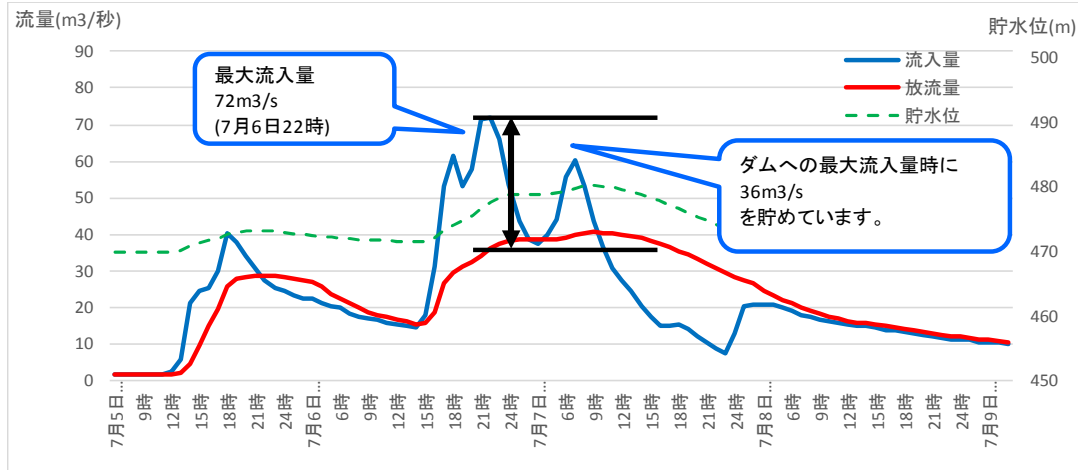


高瀬川ダム ハイドロ・流量

高瀬川ダム上流での降雨状況



高瀬川ダムへの流入状況ならびに放流状況



足立観測所横断面図(高瀬川ダムの洪水調節効果)

足立観測所において、約0.24mの水位低減効果がありました。

